

日本ビル新聞

平成 23 年 (2011 年) 10 月 24 日 (月曜日)



ベスト・インスペクター賞大賞を受賞した北山克己氏(中央)

北山克己氏 が大賞受賞

【第3回ベスト・インスペクター賞受賞発表会】

ベスト・インスペクター賞は、全国協会が創設した「建築物清掃管理評価資格者(インスペクター)制度」に基づき、1級または2級インスペクターとして登録されている資格者の日頃の努力・成果を顕彰する目的で設けられたもの。登録インスペクターからの応募に基づき、評価実績、評価活動に伴う業務改善、契約先への提案などを審査し、受賞者を決定する。

今回は応募のあった6件全てが「ベスト・インスペクター賞」を受賞しており、フェアでは6人の受賞者が自らの取り組みを発表、その中から大賞1件と特別賞2件を決定した。大賞を受賞したのは、インスペクター1級資格を持つ興和不動産ファシリティーズの北山克己氏(管理物件：東京堂千代田ビルディング)。特別賞には近鉄ビルサービスの宮本貴司氏(同：エコー・ロゼ)と、新潟鉄道整備の八木香氏(同：駅ビルC.O.C.O.L.新潟)が選ばれた。

三橋博巳審査委員長(日本大学教授)は、「前2回に比べ、インスペクター個人ではなく、会社全体で取り組んでいる事例が多くみられた。またインスペクションに環境や安全、福祉と

いった時代の要請を取り入れているのも今回の特徴」と講評。北山氏については、長年にわたり数々のインスペクションを実施してきた取り組みを評価。宮本氏については仕様書内と仕様書外で行うインスペクションを考えてオーナーに提案している点、八木氏については環境負荷軽減を考えたインスペクションを実施している点を、それぞれ評価した。

ベスト・インスペクター賞受賞者は次の通り(敬称略。カッコ内は所属企業、保有資格、管理物件)。

【大賞】北山克己(興和不動産ファシリティーズ、1級、東京堂千代田ビルディング)▽【特別賞】宮本貴司(近鉄ビルサービス、2級、エコー・ロゼ)▽【特別賞】八木香(新潟鉄道整備、2級、駅ビルC.O.C.O.L.新潟)▽石島誠人(ビジネス・サービスセンター、1級、長野県社会福祉総合センター)▽神谷能宏(名古屋ビルサービス、2級、住友生命名古屋ビル)▽高橋和雄(セイコ1、2級、某私立大学)